



安曇野屋敷林 サポーター通信

第8号

発行日/2014年1月15日

編集・発行/屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

連絡先/安曇野ブランド推進室 ☎ 0263-82-3131

http://keikan-azumino.net/p_yashiki

「安曇野 環境フェア2013」のご報告



安曇野環境フェアのブースにて



米倉さん宅の屋敷林見学

日 時:2013年10月12日(土)・13日(日)

会 場:安曇野市堀金総合体育館

今年度のテーマは「安曇野の環境を知り、育み、伝える」
～みんなで広げよう活動の輪～ をテーマに開催しました。

当プロジェクトも一昨年同様に展示を行いました。また13日午前中には周辺の屋敷林のミニ見学会も開催し、堀金の米倉さんの屋敷林を見学させていただきました。庭園内では遊び心のあるさつきの刈込を発見しました。



「安曇野屋敷林フォーラム2014」のご案内



今年度の安曇野屋敷林フォーラムは2月に開催を計画しています。安曇野には大変壮大な屋敷林が多いわけですが、潤いのある環境や景観のため市内には質の高い緑の必要があると思います。つまり身近にある 生け垣などにもスポットを当てて大きな屋敷林が無くても安曇野の景観に重要な緑化として市民で出来ることを、考える機会になればと思います。

一方新しい住宅が出来ても緑化もされなかったり緑を嫌い切られてしまう緑も多く見かけます。緑の価値を逆に否定するようなことにもよく遭遇します。緑が多い地方に比べ比較的少ない都市の方が意図的に緑化されているケースが多い様に思います。少し延長して考えると、公共の緑は公園や並木道、施設の緑化に及びます。民間の場合は 住宅、企業の施設の緑化に及びます。緑のある心の豊かさを真剣に考える機会にしたいと思います。

■日 時 平成26年2月22日(土) 開演1:30～4:30

■場 所 安曇野市 碌山公園 研成ホール

■プログラム

1:30 主催者あいさつ

1:35 来賓挨拶

1:40 基調講演「安曇野の屋敷林」

講師:笹本 正治

2:50 休 憩

3:00 パネルディスカッション

コーディネーター:場々 洋介

アドバイザー:笹本 正治氏

丸山氏(市職員景観担当)

高橋氏(造園家) 望月氏(建築士)

「身近にできる緑化」(仮称)

4:30 閉 会



落ち葉拾いボランティアのご報告 2013.11.23



ご挨拶 松岡さんとリーダー



杉の枯葉は場外に持ち出し



参加者総勢17名



作業風景



休憩時の意見交換

勤労感謝の日11月23日、すっかり落葉した三郷の松岡さんのお宅で屋敷林の落葉を拾うボランティアが開催されました。

この時期はいつもJAの温支所でりんごフェアがあります。大勢の人々が三郷に集まるなか屋敷林サポーターや一般の方々が9名参加し、当プロジェクトメンバー8名とで初作業にとりかかりました。

一昨年昨も計画したのですが、松岡さんが入院のため中止になりました。残念ながらプロジェクトメンバーであった淳夫さんが平成25年7月に亡くなったこともあり、追悼も兼ねてのボランティアで、初の企画でもありました。

約1,200坪もある敷地にはケヤキの大きな木が多いため落葉は屋敷中に広がっていました。また北西側は杉の枯葉があります。広葉樹は敷地内の穴に踏み固めて堆肥として利用するようです。この有機肥料は菊づくりの方に人気があります。武蔵野市などでは市で肥料にして利用しているようです。しかし杉の枯葉は腐らないため場外に搬出することになりました。昔学校にあった石炭ストーブの焚き付けとして利用されていましたが、現在では利用価値もありません。ところ変わって砺波市などでは大事に扱われているそうです。

2時間の作業ですっかり片付けました。休憩のとき意見交換をしたのですが、屋敷林の維持の大変さを実感しみんなで守ることの大切さを感じたようでした。参加された方々に感謝をし有意義で満足感のあるボランティアも終わりました。通常松岡さんは業者の方に依頼して行うようですが、2年がかりの計画も今回実行できました。大変うれしかったことはこの活動がマスコミに大きく紹介されたことと、2名の屋敷林サポーターが入会していただいたことでしょう。

来年もどこかで計画したいものですし、ケヤキなど参加者に分けてあげることもアイデアでしょう。美しい景観を守るには 汗も必要でしょう。次回の計画にご期待ください。